

未来へつなぐこの人

三原を愛する人たち INTERVIEW

「毎年、友達と一緒に行ったな、楽しかったな」と子どもたちの心にずっと残る祭りにしたいですね



さつき祭り実行委員長 泉田義博氏

5月の開催に向け、準備が進むさつき祭り。実行委員長として企画や準備に精力的に取り組んでおられる、泉田義博氏にお伺いしました。

今年の企画はいかがでしょう。

役員の方々に頑張って頂き、徐々に形になってきているところですが、今回変わるところ、チャレンジしているのはパレードです。「さつきパレード」は毎年、初日の土曜日に宮浦大通りで行われ、祭りを盛り上げます。色んな団体が参加される中で、参加者に小さなお子さんたちの姿が少なかったのですが、今回は幼稚園や保育所の子どもさんたちが参加して下さいます。特別な演技をするというのではなく、みんなで歩いてもらうという形ですが、いま企画中ののは、例えばさつき祭りのイメージキャラクターを考えて、子どもたちが自分で色を塗ってお面などを作るようにし、身に着けて歩いてもらったり、園によっては仮装パレードをしたりできないか、などですね。また、これをきっかけに、さつき祭りに限らず小さなお子さんたちがいろいろなところへ登場するようになって

もらえればとも思っています。グラウンド広場では、消防署、警察、JR、自衛隊の皆さんが制服姿で来られます。車両の展示のほか、一部には子供たちのサイズの服も用意してもらい、制服を着て写真撮影できるようなコーナーも設ける予定です。交通安全協会からは、自動車運転シミュレーターを出展していただきます。危険回避や安全運転のコツなど、ハンドルを握って実際に体験しながら楽しく学んでいただけます。それから、近隣のご当地キャラクターたちもたくさん来てくれますよ。

祭りを支える人たちに教えてください。

中心となる実行委員会は、地元の事業者さんを中心とした三原の方々で、例年二十数人程度。元々宮浦の祭りだったので宮浦の方が多いですが、今は宮浦に限らず、三原から広くご参加いただいています。10万人の来場者を迎える祭りですので、もちろん実行委員会だけでなく、県立広島大学の学生ボランティアの方々も200人体制で貢献して下さい

ます。今では学生ボランティアなしにはさつき祭りは考えられないほどです。こうした地域貢献活動が大学のカリキュラムの一環ともなっているようで、われわれとしても大変感謝しております。開催を支える資金については、市内を中心に毎年約300社の皆さんにご協賛頂いています。ありがとうございます。今後も広くご協力を求めますので、皆様どうぞよろしく願っています。

さつき祭りに対する思いは。

私自身は「子どもたちが楽しめる祭り」というイメージを強く持っています。5月のよく晴れた空の下、たくさん子どもたちが集まって来るイメージですね。「さつき祭りに行こう」と友達や家族を誘って、お金もそんなにかららずに、毎年毎年来て一日、あるいは二日遊んで。そうして子供たちの心にしっかり残って、大人になってからは「友達と毎年行ってきたなあ」という、懐かしい、良い思い出が残るような祭りになってほしいですね。

医療の現場から

「どんな病気も同じですが症状のわかりにくい糖尿病は簡単な血液検査からまず行ってください」

糖尿病専門医の山田記念病院東儀宣哲副院長にインタビューさせていただきました。



山田記念病院 東儀宣哲副院長

■糖尿病って怖い病気ですか？

現代病、ぜいたく病と思われている面がありますが、実はエジプト文明の時代から、日本では平安時代から記録があり、たいへん古くからある病気です。両親や兄弟姉妹に糖尿病が出ている方、食事の量が多い方はリスクが高くなります。「尿の中に糖が出る病気」と思われがちなのですが、本当の問題は血液中に糖分が残ることです。糖分が血管に悪影響を与え、それが合併症の原因になります。神経、網膜、腎臓の病気に進行しやすく、神経では知覚の異常のほか、自律神経に影響が出ると心臓や呼吸の異常で突然死を招くこともあります。網膜では最悪のケースで失明、腎臓では透析を受けることによって生活の質が大きく下がってしまいます。

■自分で糖尿病になっているとわかりますか？

自己診断での早期発見はできません。のどが渇く、尿が近くなるというのが一般的な自覚症状とされて

いますが、これが出ない人も多くいます。骨折で受診して発覚したり、見え方が何かおかしいと眼科に行くと糖尿病と診断されたり、身体のだるさを歳のせいと書いていたら実は糖尿病だったといったケースが多くあり、非常に病名を自覚しにくいです。このため診断された時にはインスリンの働きがすでに半分から1/3程度まで落ちていることが多く、早期発見、早期介入が非常に重要です。

■健康診断で引っかからなければOKですか？

健康診断で測る血糖値は、他の内臓の検査などの関係で空腹時の場合が多いのですが、糖尿病の初期段階では空腹時ではなくまず食後の血糖値の変化に異常が出ます。健康な人は食後2時間程度で食前の値まで下がりますが、糖尿病になると食後の血糖値の下がり方が健康な人比べて遅くなっていきます。空腹時の値に異常が出るのは、食後の値の悪化がかなり進んだ後になりますので、健康診断で血糖に異常がない、あるいは少なくとも、糖尿病が進行し

ていないとは言いきれません。

■糖尿病の早期発見のためには？

早期発見のポイント、食後の血糖値の変化を検査することです。健康診断や他の検査で血液検査をする場合、支障が無ければ食後1時間程度の血液で測ってもらうと糖尿病の発見につながるがあります。より確実なのは、糖尿病のチェックのためと目的を明確にし、食事時間と検査時間を設定して血液検査を行うことです。山田記念病院でもこうした糖尿病に特化した検査を行っていますので、ぜひ積極的にご利用いただきたいと思います。

医療法人 社団 明清会 山田記念病院 三原市宮浦6-2-1 0848-67-4767



1954年広島生まれの東儀副院長は日本内科学会認定医・日本糖尿病学会専門医・日本医師会認定産業医でもある。非常に物腰の穏やかな方であり、素人にもわかりやすく今回のインタビューにこたえていただきました。

Advertisement for T-Point service, offering waste collection and recycling services. Includes details on pricing and service areas.

Advertisement for昭和園 (Sho-wa-en) club, offering activities for children and families. Includes event dates and locations.

Advertisement for Fas's home renovation and remodeling services. Includes contact information and service details.

Advertisement for a beauty salon offering hair and skin treatments. Includes contact information and service details.

Advertisement for Shimanami Shinkin Bank, offering savings and loan services. Includes interest rates and branch information.

Advertisement for an optician, offering eye exams and contact lenses. Includes contact information and service details.

Advertisement for Baby&Kids gallery, featuring children's photography and products. Includes contact information and service details.